

1959

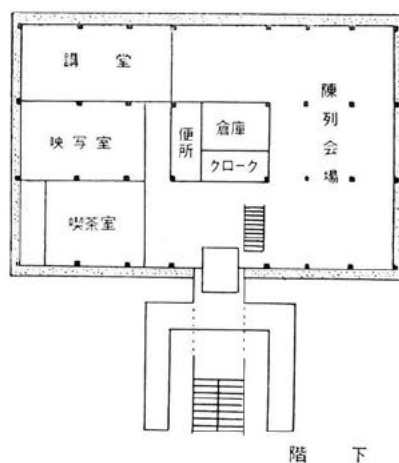
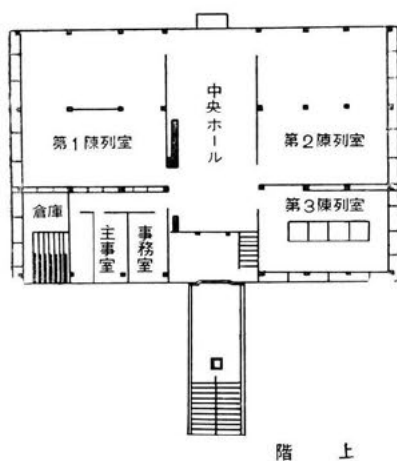


石橋美術館 館報

No. 3

目 次

1. 設 立 趣 旨	1
2. 位 置・設 備	1
3. 機 構・運 営	1
4. 開館時と入館料	2
5. 1958年度入場者一覧	2
6. 1958年度開催展覧会一覧	3
7. 1958年度平常展観目録	3
8. 肉筆浮世絵特別展	6
9. ル オ ー 展	8
10. 歿後25年記念古賀春江展	8
11. レンブラントの生涯展	9
12. 第3回現代日本美術展	10
13. 歿後30年記念佐伯祐三名作展	11
14. 富田溪仙名作展	12
15. ポール・クレ	13
16. 西 洋 名 画	13
17. 第2回西日本洋画新人秀作展	14
18. 1958年度各種活動について	15
19. 美 術 講 座	15
20. 上映映画スライド	15
21. 階下ギャラリー展覧会	16
22. レコードコンサート	16
23. 附録石橋文化センターの概要	17



設 立 趣 旨

石橋美術館は、石橋正二郎氏が、昭和31年4月26日、ブリヂストンタイヤ株式会社創立25周年を記念して、社会公共と文化向上のために、郷土である久留米市に寄贈した石橋文化センターの中心施設として開設されたものである。

位 置・設 備

- 名 称——本美術館は「石橋美術館」と称し、英文では「ISHIBASHI ART GALLERY」と記す。これは、設立者石橋正二郎氏を記念したものである。
- 位 置——福岡県久留米市野中町石橋文化センター内。
- 面 積——1587平方米。鉄筋コンクリート二階建。
- 部 屋 割——階上 第一陳列室 第二陳列室 第三陳列室 中央ホール 事務室 主事室 倉庫 洗面室
階下 オープンギャラリー 講堂 映写室 喫茶室 荷物預所 便所 倉庫
- 照 明——蛍光灯 白熱灯 併用
- 換 気——送風機による強制換気及び除湿機を併用して湿度調整

機 構・運 営

本美術館は、久留米文化振興会がこれを経営し、その運営は運営委員会に委ねられている。機構は次表の通り。

久留米文化振興会

会 長	杉 本 勝 次						
副 会 長	石 橋 幸 八	本 村 恒 次 郎	龍 頭 文 吉 郎				
常 務 理 事	青 木 重 憲						
理 事	秋 山 久 人	板 垣 政 参	井 上 伝	牛 島 慶 二	岡 部 平 太		
	倉 富 正 月	高 木 巖	安 田 理 雄	渡 辺 一			
監 事	浅 田 昇	齋 田 勇					

石 橋 美 術 館

顧 問	細 川 護 立	坂 本 繁 二 郎	杉 本 勝 次
参 与	豊 田 勝 秋	海 老 原 喜 之 助	

運 営 委 員 会

委 員 長	石 橋 幹 一 郎						
委 員	団 伊 能	富 永 惣 一	谷 信 一	今 泉 篤 男	嘉 門 安 雄		
	河 北 倫 明	谷 口 鉄 雄	伊 原 宇 三 郎	猪 熊 弦 一 郎	岩 佐 新		
	岸 田 勉						
主 事 補	(学芸員) 増 田 洋						

開館時と入館料

開館時間 午前9時 — 午後5時30分（4月1日—9月31日）

午前9時30分—午後5時 （10月1日—3月31日）

休 館 年末12月28日より 年始1月4日まで

別に陳列替のため臨時休館あり

入 館 料 （石橋文化センター入園料とも）

個 人

一 般	50円
大学・高校生	40円
中学・小学生	30円

団 体（30名以上）

一 般	40円
大学・高校生	30円
中学・小学生	20円

保護者同伴に限り未就学児無料。尚、特別展の時には料金の変更を行うことがある。

1958年度入場者一覽

月別	開館日数	個 人			団 体			フリー	計	一日平均
		一 般	大 学 生 大 高 校 生	中 学 生 中 小 学 生	一 般	大 学 生 大 高 校 生	中 学 生 中 小 学 生			
4	29	3.185	844	310	581	788	791	357	6.856	236
5	30	4.523	1.315	487	1.575	731	475	362	9.468	316
6	30	2.008	263	105	897	455	261	244	4.233	141
7	30	1.500	475	144	535	214	81	232	3.181	106
8	30	2.919	962	755	434	318	395	332	6.115	204
9	29	2.178	251	214	755		1.085	79	4.562	157
10	30	2.718	526	240	1.621	1.068	2.018	176	8.367	279
11	29	3.066	542	305	1.317	278	1.344	340	7.192	248
12	26	1.168	272	52	578	63		116	2.249	86
1	28	1.256	275	109	169			107	1.916	68
2	27	1.618	280	151	943			153	3.145	116
3	31	2.976	858	386	861	160	874	221	6.336	204
計	349	29.115	6.863	3.258	10.266	4.075	7.324	2.719	63.620	182

1958年度開催展覧会一覧

展 覧 会 名 称	期 間	日 数	入 場 者 数								計	一日平均
			個 人			団 体			フリース パス			
肉筆浮世絵 特別展	4月1日ー 4月20日	20	2.128	516	224	464	393	446	232	4.403	220	
ル オ ー 展	4月22日ー 5月25日	34	5.306	1.602	567	1.538	901	820	448	11.182	329	
歿後25年記念 古賀春江展	6月1日ー 6月30日	30	2.008	263	105	899	455	261	242	4.233	141	
レンブラントの生涯展	7月2日ー 7月24日	23	1.024	317	90	490	152	0	165	2.238	97	
第3回現代日本美術展	7月25日ー 8月28日	35	3.253	1.089	788	337	380	413	389	6.649	190	
平 常 展 観	8月30日ー 10月12日	44	3.343	439	323	1.526	67	2.063	137	7.895	179	
歿後30年記念 佐伯祐三名作展	10月15日ー 11月16日	34	3.887	803	405	1.712	1.224	1.904	376	10.311	303	
富田溪仙名作展	11月18日ー 12月14日	27	1.750	201	73	990	118	546	185	3.863	143	
複製ポール・クレー	12月16日ー 1月31日	40	1.548	454	140	354	0	0	136	2.626	66	
模写複製西洋名画	2月1日ー 2月27日	27	1.618	280	151	943	0	0	153	3.145	116	
第2回 西日本洋画新人秀作展	3月1日ー 3月29日	29	2.837	814	350	851	160	874	221	6.107	207	

1958年度 平 常 展 観 目 録

〔日 本 作 品〕

1	中 丸 精 十 郎	滝	(107.5×70.5) cm	1890年作
2	百 武 兼 行	臥 裸 婦	(97 ×187)	1881年作
3	浅 井 忠 輝	縫 物	(91 × 46)	1902年作
4	黒 田 清 輝	針 仕 事	(80 × 65)	1890年作
5	"	鉄 砲 百 合	(61.5× 81)	1909年作
6	藤 島 武 二	天 平 の 面 影	(198.5× 94)	1902年作
7	"	ヴェルサイユ風景	(73 × 91)	1906—7年作
8	"	唐 様 三 部 作	(79 ×138.5)	1912年作
9	"	東 海 旭 光	(65 × 91)	1932年作
10	"	五 剣 山 の 日 の 出	(53 × 73.5)	"
11	岡 田 三 郎 助	ば ら の 少 女	(119 × 79)	1901年作
12	"	臥 裸 婦	(45 × 91.5)	
13	"	髪 す く 女	(60 × 46)	1915年作
14	満 谷 国 四 郎	坐 婦	(65 × 54)	1913年作
15	"	ブルターニュ風景	(46 × 45.5)	"
16	"	裸 婦	(53 × 45.5)	1925年作
17	"	裸 婦	(54 × 46)	1925年作
18	"	脱 衣	(64 × 31)	1926年作
19	中 沢 弘 光	「思 い 出」下 図	(69 × 35)	1909年作

20	中	沢	弘	光	ピ		サ	(24 × 31)	1921年作
21		"			ベ	ル	ギ	(31 × 24)	"
22		"			ナ	ポ	リ	(25 × 34)	"
23		"			コ	ロ	ン	(31 × 24)	"
24		"			ヴ	エ	ニ	(37 × 28)	"
25		"				"		(24 × 19)	"
26		"			ロ	ー	マ	(")	"
27		"			ミ	ラ	ノ	(")	"
28	和	田	英	作	読		書	(73 × 53.5)	1902年作
29		"			チュ	ー	リッ	(80 × 65)	1927年作
30		"			早	春	(富士)	(53 × 65)	1939年作
31	石	川	寅	治	農	事	多	(91 × 117)	1947年作
32	吉	田		博	ウ	ダイ	プールの	(33 × 45)	1931年作
33		"			弁		流	(97 × 130)	1936年作
34		"			風		景	(33 × 45)	"
35	小	杉	放	庵	山	幸	彦	(192 × 291)	1917年作
36	山	下	新	太	バ		ラ	(46 × 38)	"
37		"			供		物	(55 × 45.7)	1915年作
38	青	木		繁	秋	の	夜	(14.5 × 16)	1902年作
39		"			閣	威	弥	(15 × 10.2)	1903年作
40		"			輪		転	(27.3 × 37.6)	"
41		"				海		(10.3 × 15)	1904年作
42		"			丘	に	立	(16 × 14)	"
43		"			農		人	(31 × 29)	"
44		"			木		家	(33 × 24)	"
45		"				春	立	(16.3 × 32.3)	"
46		"			海		景	(35 × 71)	1904~5年作
47		"			水		浴	(14 × 25)	"
48		"			風		景	(扇 面)	1904年作
49		"			女	の	顔	(羽 子 板)	"
50		"			光	明	皇	(38 × 72.5)	1905年作
51		"			雪		后	(32.5 × 23)	1906年作
52		"			わ	だ	つ	(181.5 × 70)	1907年作
53		"			み	の	い		1908年作
54		"			の	い	ろ		"
55		"			春				"
56		"			秋				"
57	坂	本	繁	二	月	下	滞	(41.5 × 57)	"
58		"		郎	荒		船	(24 × 33)	1915年作
59		"			自	画	海	(45.5 × 37.5)	1929年作
60		"			放	牧	三	(79.5 × 99)	1932年作
61		"			親	子	馬	(15 × 21)	"
62	石	井	柏	亭	三	勇	士	(52 × 81)	1923年作
63	金	山	平	三	傘	松	(ナポリ)	(50 × 60)	"
64		"			石	母	田	(40 × 53)	"
65		"			田	沢	の	(45 × 45)	"
66	和	田	三	造		菊		(55 × 72)	"
67	辻	"		永		海		(106 × 197)	"
68		"			教会	の	見	(31 × 41)	"
69		"			える	風	景	(53 × 72.5)	"
70	斎	藤	与	里	春			(27 × 36.5)	1921年作
71	藤	田	嗣	治	フ	オ	ン		"
72		"			秋	ネ	・		"
73	青	山	熊	治	イ	ン	キ		"
74	小	出	檀	重	壺	の	ある		"
75		"			裸	女	と		"
					男	の	猫		"
					裸	婦	像		"
					婦	素	描		"

76	安井曾太郎	水北	浴京	群風	像景	(128 × 193)	1914年作	
77	"	り	ん		ご室	(27 × 19)	1944年作	淡 彩
78	"	画			人	(31 × 51.5)		
79	"	和	装	婦	人	(40 × 28)		木 版
80	"	洋	装	婦	人	(40 × 28)		"
81	"	静			物	(40 × 28)		"
82	"	蓄	音		器	(28 × 40)		"
83	"	外	房	風	景	(40 × 28)		"
84	"	秋			景	(28 × 40)		"
85	"	奈	良	に	て	(28 × 40)		"
86	"	ば			ら	(28 × 40)		"
87	"	魚	貝	静	物	(28 × 40)		"
88	"	ナポリよりソレントを望む				(28 × 40)		"
89	梅原龍三郎	婦人読書			図	(45.5 × 61)	1921年作	
90	遠山五郎	芙ススキー			蓉	(80 × 65)	1922年作	
91	片多徳郎	エ動物園			ス	(45.5 × 37.5)	1924年作	
92	坂谷川	麗子			景	(33 × 23)		
93	長田利男	トレド			風	(45 × 53)		
94	岸田善三郎	南仏アルプス			遠望	(34 × 47)	1920年作	
95	児島山義雄	フ랑스風景			山	(50 × 100)		
96	青林	サントヴィクトワール			生	(52 × 45.5)		
97	"	誕生				(45 × 52)		
98	古賀春江	海水浴の女			達	(32 × 41)		
99	"	海鳥			女	(91 × 116.8)	1923年作	
100	"	鳥素	朴	な	月	(91 × 116.8)	"	
101	"	単感	純	な	哀	(111 × 145.5)	1929年作	
102	"	少	傷	の	静	(116.8 × 91)	"	
103	"	嚴	し	き	伝	(116.8 × 91)	1930年作	
104	"	靴	屋	の	店	(116.8 × 91)	1931年作	
105	"	告	と	テ	ラ	(111 × 145.5)	1925年作	
106	"	ガ	ラ	ー	ジュ	(72 × 60)	1927年作	
107	"	広	告	貼	り	(54 × 66)	"	
108	佐伯祐三	角	の	酒	場	(60 × 73.5)	1927年作	
109	"	山	と	犬	水	(74 × 61)		
110	"	廃			園	(60 × 72.5)		
111	荻猪	カーニュシュールメール				(66 × 81.5)		
112	須弦一郎	座間田園				(46 × 63)		
113	"					(39 × 49)		
114	荒井龍男					(55 × 46)		
115	三岸節仁					(34 × 46)		
116	甲斐							
117								

〔外 国 作 品〕

1	ギ	ー	ス	酒	農	場	水	彩
2	ミ	レ	ス	男		夫	素	描
3	セ	ザ	ン	婦	の	像	"	
4	ス	ミ	ン	裸	人	像		
5	ル	ド	ク	ラ	・	ロ	素	描
6	シ	ニ	ッ	リ	ユ	リ	水	彩
7	マ	チ	ス	バ	ッ	カ	ペン	素
8	モ	ー	ス	風	鏡	を	1931年作	
9	ヴ	ラ	ン	手	持	つ	1920年作	
10	ロー	ラン	サン	静			水	彩
11	アーノルド・フィドラー			風				
12	アンリー・ロジュラン			園	の	一	1950年作	
13	アレシンスキー						1951年作	

- | | | | |
|----|-----------|-------|--------|
| 14 | アレシンスキー | 木の根 | 1954年作 |
| 15 | トーマス・ジョージ | 夜の映像 | 1957年作 |
| 16 | ヴァン・ド・レーヌ | 化粧する女 | |

〔彫刻〕

- | | | | | | |
|---|------|-----|------|------|--------|
| 1 | 戸張弧雁 | 裸婦 | ブロンズ | 24cm | |
| 2 | 藤川勇造 | 臥裸婦 | " | 19cm | 1930年作 |

肉筆浮世絵特別展

(4月1日 — 4月20日)

当館主催 会場 第1、2陳列室

展示美術品中肉筆浮世絵は福岡県下に所在するもので、浮世絵版画は東京国立博物館の御好意に依る出品である。

肉筆浮世絵

- | | | | | | | |
|----|---------------|-----------|------|-------|------|-------|
| 1 | 舞踊図 | 屏風 | 風 | 6曲半双 | 4図帖付 | 重要美術品 |
| 2 | 本間孫四郎 | 遠矢 | 図 | | | |
| 3 | 美人 | | 図 | | | |
| 4 | 簪を粧う | 遊人 | 女図 | | | |
| 5 | 桜下 | 美人 | 図 | | | |
| 6 | 髪梳人 | 愛と | 猫 | | | |
| 7 | 遊女 | と | 禿 | | | |
| 8 | 遊女 | と | 禿 | | | |
| 9 | 遊女 | と | 禿 | | | |
| 10 | 紅葉 | の | 美人 | | | |
| 11 | 春の | 野 | 遊 | | | |
| 12 | 久米 | の | 仙人 | | | |
| 13 | 雪の | 衆 | 朝 | | | |
| 14 | 若く | 羽根 | 美人 | | | |
| 15 | はた | る | 狩 | | | |
| 16 | 浅草 | 金龍山 | 遠見風景 | | | |
| 17 | 雪中 | 二美人 | 図 | | | |
| 18 | 雪中 | 美人図、左右、月下 | 秋草 | | | |
| 19 | 中、美人図、左右、月下 | 秋草 | 図 | 三幅 | 対 | |
| 20 | 紫式部 | | 図 | | | |
| 21 | 歌伎と仲居 | | 図 | | | |
| 22 | 若衆の | 美人 | 図 | 重要美術品 | | |
| 23 | 桜詠 | 歌 | 図 | | | |
| 24 | 猿曳 | 美人 | 図 | 重要美術品 | | |
| 25 | 船美 | 人 | 図 | | | |
| 26 | 松風 | 村雨 | 図 | | | |
| 27 | 歌伎 | | 図 | | | |
| 28 | 歌伎 | | 図 | | | |
| 29 | 杜 | | 鶴 | | | |
| 30 | 女 | 琴高仙人 | 図 | | | |
| 31 | 玉川の富士図、利根川の筑波 | | 図 | 対幅 | | |
| 32 | 地獄 | 大夫 | 図 | | | |

浮世絵版画 (東京国立博物館蔵)

〔前期陳列〕

- | | | | |
|---|--------|---|---|
| 1 | 市川團十郎 | 細 | 絵 |
| 2 | 亀井戸梅屋敷 | 大 | 錦 |
| 3 | 風流見立坐鋪 | 中 | 版 |
| 4 | 見立牛若丸 | " | |

- | | | |
|----|---------|---|
| 無岩 | 款 (寛永期) | 筆 |
| 佐川 | 勝和 | 筆 |
| 懷月 | 堂 | 筆 |
| 田村 | 水長 | 筆 |
| 宮川 | 一長 | 筆 |
| 宮川 | 長長 | 筆 |
| 宮川 | 長祐 | 筆 |
| 西川 | 春 | 筆 |
| 竹田 | 龍 | 筆 |
| 磯田 | 湖 | 筆 |
| 円月 | 石 | 筆 |
| 上北 | 柿 | 筆 |
| 北北 | 尾 | 筆 |
| 窪窪 | 政 | 筆 |
| 勝勝 | 俊 | 筆 |
| 勝勝 | 春 | 筆 |
| 喜多 | 川 | 筆 |
| 細田 | 歌 | 筆 |
| 鳥居 | 榮 | 筆 |
| 歌川 | 清 | 筆 |
| 歌川 | 豐 | 筆 |
| 歌川 | 豐 | 筆 |
| 歌祇 | 国 | 筆 |
| 祇山 | 井 | 筆 |
| 老入 | (北) | 筆 |
| 川亭 | 永 | 筆 |
| 磯立 | 廣 | 筆 |
| 一河 | 鍋 | 筆 |

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 北 | 尾 | 重 | 政 | 筆 |
| " | " | " | " | 筆 |
| 磯 | 田 | 湖 | 竜 | 筆 |
| " | " | " | " | 筆 |

5 青楼芸子俄狂言尽
 6 深川八景三十三間堂夕照
 7 うづき、ふじ見、ほととぎす
 8 江都勸進大相撲浮絵之図
 9 梅の玉河
 10 ねがいのいとぐち
 11 江戸町三丁目玉屋内若梅
 12 見南美十二候四月り
 13 出語
 14 お宮参
 15 一ノ谷鶴越逆落
 16 吉原大門口
 17 市川高麗蔵、中山富三郎
 18 瀬川路之介、おしづ
 19 大首男形(林忠)
 20 富嶽三十六景 相州江の島
 21 富嶽三十六景 甲州三坂水面
 22 富嶽三十六景 下目黒
 23 富嶽三十六景 深川万年橋
 24 富嶽三十六景 礪川雪の旦
 25 廊中美人競越前屋
 26 江戸日本橋小田原町肴市
 27 見立東下り二人立美人
 28 一幽斎、東都名所、新吉原朝桜之図
 29 赤羽水天宮之雨
 30 浅草金竜山年の市雪景

中 版
 " "
 大 錦
 " "
 " "
 キラ 摺大 首版錦
 中大 " "
 " "
 中大 版錦
 " "
 " "
 キラ 摺大 首錦
 中大 "

磯勝 田川 湖春 竜斎 筆
 " "
 " "
 喜多 川歌 磨 筆
 " "
 " "
 鳥居 清 長 筆
 " "
 " "
 歌川 豊 春 筆
 " "
 歌川 国 政 筆
 " "
 " "
 葛飾 北 斎 筆
 " "
 " "
 " "
 鳥橋 齋栄 里 筆
 礪川 亭永 理 筆
 " "
 安藤 広 重 筆
 " "
 " "

〔後期陳列〕

1 風流やっこ七小町
 2 井戸水 汲
 3 小野小 町
 4 風流十節 元旦
 5 今様座敷 八景
 6 夏蚊 子
 7 鳥帽子 挿花
 8 美人 八景
 9 品川君 競
 10 当地世美人 競
 11 地角紙 八景
 12 青田川 二景
 13 音曲 恋の太
 14 山姥 七
 15 箱根 七美人
 16 当世遊 裡美初
 17 雛形若 衆今
 18 風流女 川
 19 風流 今
 20 青楼 美
 21 富嶽三 十六
 22-26 東海道 五十景
 27-28 名所 江戸 百
 29-31

鈴木 春 信 筆
 " "
 " "
 磯田 湖龍 齋 筆
 " "
 " "
 北尾 重 政 筆
 " "
 " "
 北尾 政 演 筆
 " "
 " "
 喜多 川歌 磨 筆
 " "
 " "
 鳥居 清 長 筆
 " "
 " "
 礪川 亭永 鯉 筆
 " "
 " "
 葛飾 北 斎 筆
 " "
 " "

ル オ ー 展

(4月22日 — 5月25日)

当館主催 会場 第1、2 陳列室

逝去したジョルジュ・ルオーの芸術を偲んで、所蔵家各位の好意ある御出品を得て開催したものである。

1	女	の	ピ	エ	ロ	(65 × 49.5cm)	1903年作	油	彩	
2	裸				体	(40 × 27 cm)	1908年作	グワッシュ		
3	裸				婦	(31 × 18 cm)	1913年作	油	彩	
4	風				景	(20 × 31 cm)	"	"		
5	ペ	ー	ル	・	ウ	ブ	(32 × 20 cm)	1916年作	グワッシュ	
6	ピ			エ	人	ロ	(91 × 72 cm)	1925年作	油	彩
7	大	き		な	人	形	(57 × 38 cm)	1925～29年作	"	
8	女			の	像	(72.5×54 cm)	1929年作	"		
9	聖			骸	布	(48 × 39 cm)	1935年作	グワッシュ		
10	ピ			エ	ロ	(29 × 22 cm)	1936年作	油	彩	
11	悲	し	み	の	場	末	(43 × 34 cm)	1948～52年作	"	
12	ヴ	ェ	ル	サ	イ	ユ	(27 × 18.5cm)	1952年作	"	
版画	ミ	セ	レ	ー	レ	ス	38 点	1948年作	銅	版
版画	サ	ー		カ			1 点	1921年作	石	版
版画	郊				外		6 点		石	版
版画	自			画	像		1 点	1928年作		
	ル	オ	ー	筆	跡					

歿後25年記念 古賀春江展

(6月1日 — 6月30日)

当館主催 会場 第1、2 陳列室

郷土出身の画家古賀春江の歿後25年を記念して、国立近代美術館、神奈川県立近代美術館、在福の各所蔵家、西日本新聞社より御出品をいただき開催したものである。

〔油 彩 作 品〕

1	腰	か	け	る	裸	像	(61 × 45 cm)	
2	裸					像	(45 × 33 cm)	
3	横	臥			裸	婦	(80 × 61 cm)	
4	婦			人		像	(53 × 46 cm)	
5	婦			人		像	(65 × 53 cm)	
6	婦			人		像	(46 × 33 cm)	
7	庭					先	(111 × 91 cm)	
8	三	人		の	女	(91 × 117 cm)		
9	考	え		る	女	(45 × 38 cm)	1919年作	
10	農	夫		の	家	族	(73 × 90 cm)	
11	二	階		よ	り		(60 × 72 cm)	1922年作
12	将				棋		(53 × 73 cm)	
13	婦	人		座	像	(61 × 50 cm)		
14	静	物		・	花	(73 × 60 cm)		
15	手	を	あ	ぶ	る	女	(91 × 68 cm)	
16	縁	側		の	女	(73 × 91 cm)		
17	母				子	(81 × 65 cm)		
18	誕				生	(91 × 116.8cm)		
19	海				女	(116.8 × 91 cm)	1923年作	
20	海	水	浴	の	女	達	(91 × 116.8cm)	"

肉筆浮世絵特別展

4月1日～4月20日

本展覧会は肉筆浮世絵を主、浮世絵版画を従にした同一画家の肉筆画と版画の併置陳列を行い、浮世絵芸術の鑑賞に新しい方法を試みた。肉筆浮世絵は福岡県下に所在する作品で、重美を含め32点、版画は東京国立博物館所蔵の作品61点が出品された。肉筆浮世絵の展観としてはもとより、汎浮世絵の展観としても水準の高いものである。

舞踊図屏風 重美（部分）

ルオー展 4月22日～5月25日

本展覧会は、現代フランスの巨匠の1人であったジョルジュ・ルオー（1958年2月13日パリの自宅で逝去86才）の遺業を偲んで開催したものである。在京の各所蔵家の御好意により、油彩・グワッシュ作品12点と、銅版画『ミセレーレ』・石版画『郊外』など版画作品4点を公開した。会場には1万人を超える人々が詰めかけた。

ピエロ（油彩）

1925年作

聖骸布（グワッシュ）

1935年作

歿後25年記念古賀春江展

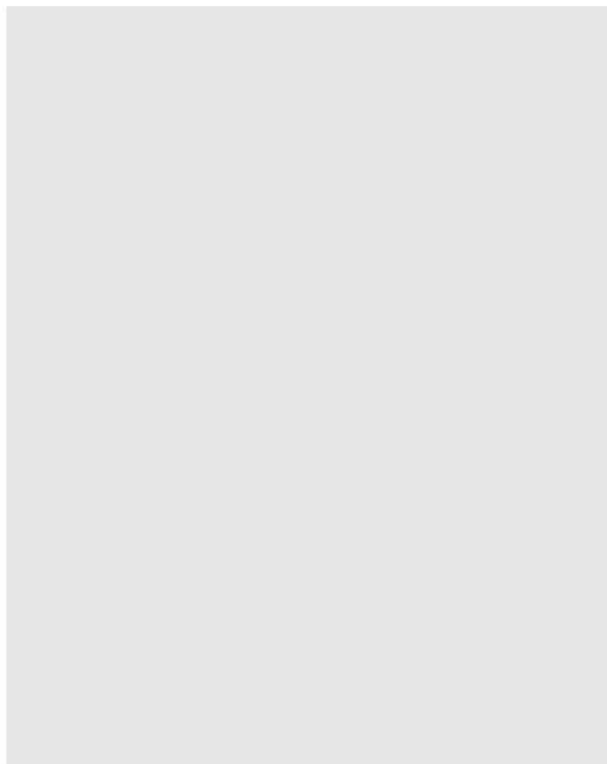
6月1日—6月30日

本展覧会は、1933（昭8）年病歿した古賀春江（こがはるえ）の歿後25年を記念して開催したものである。古賀春江は郷土久留米の生んだ異色画家であり、超現実派の詩人としても知られている。会場には国立近代美術館、神奈川県立近代美術館、西日本新聞社、久留米とその近郊の所蔵家の御好意により、油彩作品32点、水彩作品20点を展示した。

（右）山手風景（油彩） 1928年作

この作品は古賀春江の親族が長く秘蔵していたもので、歿後公開されたのは今回が初めてである。

（下）会場風景



第3回 現代日本美術展 7月25日—8月28日

第3回現代日本美術展九州巡回の最初の公開を行ったものである。初日ビルマより来日中のウ・イトウダ大僧正（写真（下）中央の人物）の一行が訪れた。





会 場 風 景

歿後30年記念佐伯祐三名作展

10月15日－11月16日

作 品 解 説 解説者 山尾薫明氏

本展覧会は、故佐伯祐三の歿後三十年を記念して開催したものである。会場には山本清雄氏、田中丸善八氏、岡崎林平氏、ブリュッセル美術館の御好意により四十点の作品が出品され、一万人を超える鑑賞者が来館した。

富田溪仙は一八七九（明治十二）年福岡市に生れ、一九三六（昭和十一）年京都で歿した人である。在世中は主に院展で活躍し数々の名作を遺している。

とくに詩人ポール・クロードルとの交遊は有名である。会場には三二点の作品と書翰などの参考品が出品されたが、「伝書鳩」他五点の大画面作品の展示は人々に感銘を与えた。

富田 溪仙 名作展 11月18日—12月14日

（上）「南泉斬猫 獅子仏性」 屏風 一九一八年作
第五回院展に発表後は長らく行方が判らなかったものであり、歿後開かれた遺作展には試作品が出品されていた。今回計らずも市立神戸美術館菅瀬正氏の御尽力で発見され、公開されたものである。

（左） 会場風景 写真の左端は鶴船（一九一二年作）
中央は青嵐図屏風（一九一三年作）



特別陳列 ポール・クレー 12月16日—1月31日

会 場 風 景



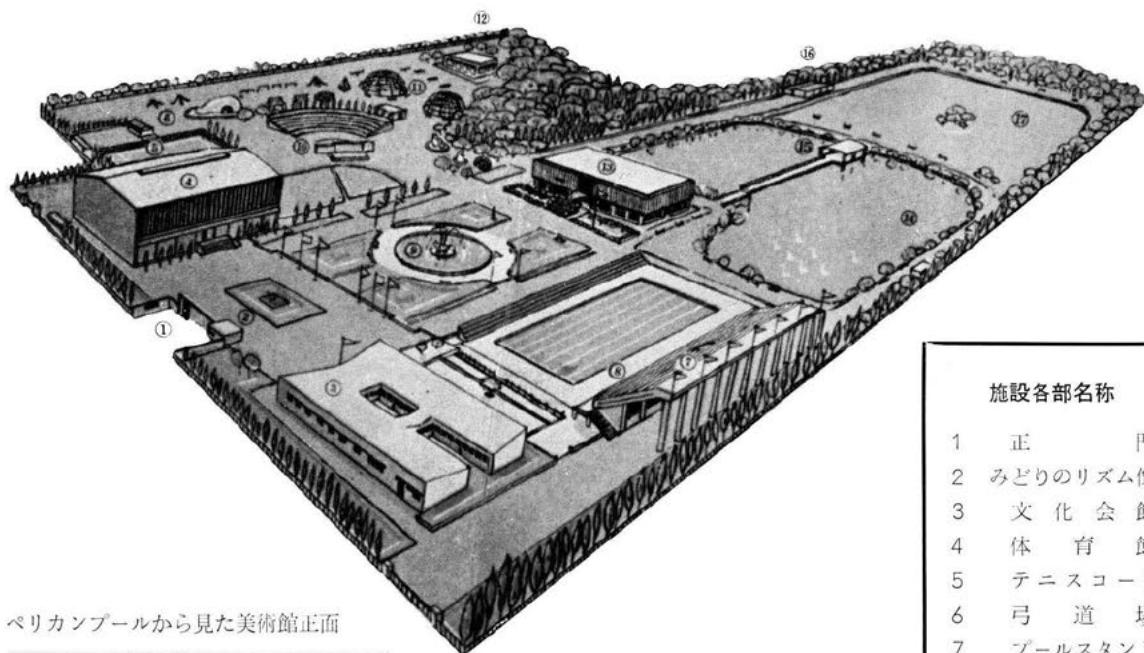
第2回 西日本洋画新人秀作展 3月1日—3月29日

大展覽会は、西日本の各公募展の上位入賞作品を選抜したものである。出品作品に対しては、当館独自の立場から審査を行い、金銀銅三賞の授賞を行っている。そのため各公募展にも好ましい影響があると好評を得ている。

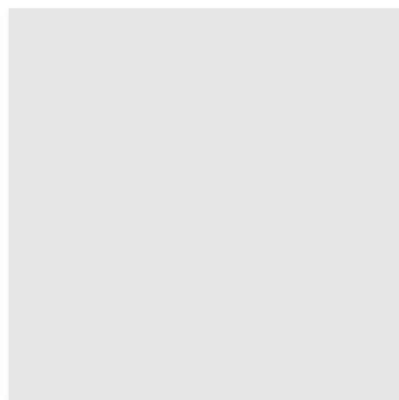
会 場 風 景



石橋文化センター全図



ペリカンプールから見た美術館正面



施設各部名称

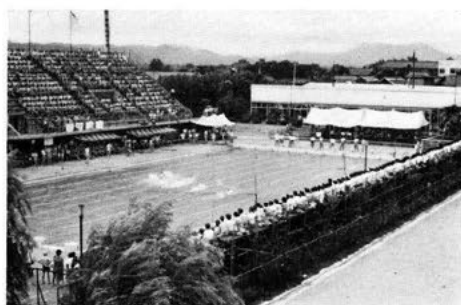
- 1 正 門
- 2 みどりのリズム像
- 3 文化会館
- 4 体育館
- 5 テニスコート
- 6 弓道場
- 7 プールスタンド
- 8 競泳プール
- 9 ペリカンプール
- 10 野外音楽堂
- 11 児童遊園地
- 12 児童プール
- 13 美術館
- 14 白鳥の池
- 15 橋
- 16 くじゃく舎
- 17 いこいの森



(上) みどりのリズム像、遠景は美術館。

(右) 手前はプール及びプールスタンド、後方は文化会館。

(左) 手前はペリカンプール、後方は体育館。



21		花		(73 × 60 cm)	
22	窓	際	の	(72 × 60 cm)	1924年作
23	山	手	風	(×)	1928年作
24	鳥			(111 × 145.5cm)	1929年作
25	素	朴	な	(116.8 × 91 cm)	"
27	車	純	な	(116.8 × 91 cm)	1930年作
27	少			(91 × 116.8cm)	
28	窓	外	の	(162 × 130 cm)	1930年作
29	現	実	線	(145 × 112 cm)	1931年作
30	厳	し	き	(111 × 145.5cm)	1931年作
31	感	傷	の	(116.8 × 91 cm)	"
32	白	い	貝	(162 × 130 cm)	1932年作
33	サ	ー	カ	(130 × 162 cm)	1933年作

西日本新聞社蔵

〔水彩作品〕

1	婦	人	像	(57 × 45 cm)	
2	石	灯	籠	(37 × 45 cm)	1920年作
3	り	ん	景	(30 × 49 cm)	1921年作
4	窓	辺	の	(38 × 47 cm)	
5	編	物	婦	(49 × 38 cm)	
6	火	鉢	に	(47 × 38 cm)	
7	静	物	ス	(38 × 56 cm)	
8	母	物	ス	(32 × 23 cm)	
9	二	人	の	(51 × 39 cm)	
10	二	人	の	(50 × 37 cm)	
11	見		晴	(23 × 32 cm)	
12	橋	の	あ	(29 × 38 cm)	
13	美	し	博	(50 × 62 cm)	
14	室			(56 × 38 cm)	
15	花	瓶	と	(51 × 39 cm)	
16			"	(51 × 38 cm)	
17			"	(50 × 38 cm)	
18	静	物	・	(61 × 50 cm)	1926年作
19	風			(49 × 60 cm)	1926年作
20	古	賀	好	(36 × 26 cm)	

〔参考作品〕

古賀春江像 中川紀元作

レンブラントの生涯展

(7月2日 — 7月24日)

主催 国際文化振興会、朝日新聞社

後援 オランダ大使館、外務省

会場 第2陳列室

第1、3 陳列室は平常展観

第3回 現代日本美術展

(7月25日 — 8月28日)

毎日新聞社、当館主催

会場 第1、2、3 陳列室

〔洋画〕

1	朝井閑右衛門	パ五	ラ月	の	図	(96.3×81.7cm)
2	石川滋彦	五	雨	後(長崎)		(72.5×90.5cm)
3	伊藤上三	裸	崖	婦		(120×76cm)
4	井藤原喜之		道	物	売	(130.3×89.4cm)
5	海老鹿之	大	丘	の	物	(130.3×97cm)
6	岡田謙三	元	乗	客		(73×91cm)
7	岡香月田					(100×80.3cm)
8	田月田					(116.8×74.2cm)
9	金川端孝					(112.2×145.5cm)
10	木下磯野	リ	室	ズ	ム(茶)	(193×130.3cm)
11	小河野三三	家	狂	っ	た	(116.8×91cm)
12	高斎藤正	悲	鳥	の	構	(99×91cm)
13	斎藤繁次	調	生		の	(130.3×162.2cm)
14	斎藤繁次	松	の	木	の	(91×82cm)
15	斎藤繁次	松	の	木	の	(97×145cm)
16	斎藤繁次	松	の	木	の	(162.2×130.3cm)
17	斎藤繁次	松	の	木	の	(130.3×97cm)
18	斎藤繁次	松	の	木	の	(91×72.7cm)
19	斎藤繁次	松	の	木	の	(113×97cm)
20	斎藤繁次	松	の	木	の	(130×162cm)
21	斎藤繁次	松	の	木	の	(81×130cm)
22	斎藤繁次	松	の	木	の	(90×117cm)
23	斎藤繁次	松	の	木	の	(100×80.3cm)
24	斎藤繁次	松	の	木	の	(130.3×97cm)
25	斎藤繁次	松	の	木	の	(116.8×74.2cm)
26	斎藤繁次	松	の	木	の	(102×204cm)
27	斎藤繁次	松	の	木	の	(130×160cm)
28	斎藤繁次	松	の	木	の	(91×60.6cm)
29	斎藤繁次	松	の	木	の	(91×116.8cm)
30	斎藤繁次	松	の	木	の	(116.8×91cm)
31	斎藤繁次	松	の	木	の	(91×72.7cm)
32	斎藤繁次	松	の	木	の	(98×147cm)
33	斎藤繁次	松	の	木	の	(91×72.7cm)
34	斎藤繁次	松	の	木	の	(200×100cm)
35	斎藤繁次	松	の	木	の	(130.3×97cm)
36	斎藤繁次	松	の	木	の	(89.4×130.3cm)
37	斎藤繁次	松	の	木	の	(130.3×162.2cm)
38	斎藤繁次	松	の	木	の	(72.2×91cm)
39	斎藤繁次	松	の	木	の	(162.2×130.3cm)
40	斎藤繁次	松	の	木	の	(186×104cm)
41	斎藤繁次	松	の	木	の	(100×80.3cm)
42	斎藤繁次	松	の	木	の	(162.2×130.3cm)
43	斎藤繁次	松	の	木	の	(162.2×130.3cm)
44	斎藤繁次	松	の	木	の	(198×198cm)
45	斎藤繁次	松	の	木	の	(162.2×130.3cm)
46	斎藤繁次	松	の	木	の	(130×163cm)

〔版	画〕								
1	泉			茂	春	(石版)		(44 × 34 cm)	
2	川	上	澄	生	きりしたん	(木版)		(45 × 60 cm)	
3	北	岡	文	雄	北 海 の 花	(")		(36 × 57 cm)	
4	関	野	準	郎	森 の 習 作 No.3	(")		(90 × 117 cm)	
5	浜	口	陽	三	茴 香	(銅版)		(30 × 45 cm)	
6	浜	田	知	明	飛 翔	(")		(36.7 × 45.5cm)	
7	棟	方	志	功	飛 流 の 柵	(木版)		(屏 風 一 雙)	
					(太平洋に寄する)				
〔日	本	画〕							
1	朝	倉		摂	日 本	1 9 5 8		(182 × 364 cm)	
2	麻	田	鷹	司	崖			(113 × 147 cm)	
3	麻	田	弁	次	と 壁			(120 × 100 cm)	
4	安	西	啓	明	食 (蝕)			(181.5 × 148.5cm)	
5	岩	崎	巴	人	痴			(177 × 85 cm)	
6	岩	橋	英	遠	樹			(132 × 82.5cm)	
7	片	岡	球	子	ア ト リ エ			(132 × 105.6cm)	
8	加	納	三	輝	北 国 の 海			(183.2 × 99 cm)	
9	加	山	又	造	冬 の			(114 × 146 cm)	
10	琴	塚	英	一	淀 松 堤			(197 × 98.5cm)	
11	小	松		均	松 樹 園			(148.5 × 181.5cm)	
12	酒	井	亜	人	陽 く ろ づ			(120 × 103 cm)	
13	浜	田	一	観	映			(152.5 × 122 cm)	
14	稗	田	魁	穂	る 霊			(164 × 148.5cm)	
15	東	山	豊	夷	121 × 152 cm			(121 × 152 cm)	
16	福	田	四	郎	原			(162.2 × 97 cm)	
17	丸	木	位	里	士			(115.5 × 148.5cm)	
18	水	越	松	南	い			(146.9 × 180 cm)	
19	望	月	春	江				(110 × 170 cm)	
20	山	崎		豊				(136 × 106 cm)	
21	横	山		操	犬 吠			(180 × 270 cm)	

歿後30年記念 佐伯祐三名作展

(10月15日 — 11月16日)

当館主催 会場 第1、2陳列室

山本清雄氏、田中丸善八氏、岡崎林平氏の好意ある御出品を得て開催したものである。

1	村 の 教 会 堂	(45.5 × 60.7cm)	1925年作
2	寺 院	(60.5 × 73.0cm)	"
3	酒 場	(72.6 × 60.7cm)	"
4	洗 濯 屋	(72.4 × 59.7cm)	"
5	夜のノートルダム寺院	(79.3 × 54.0cm)	"
6	カ ミ オ ン	(60.3 × 71.7cm)	"
7	壁	(60.3 × 71.7cm)	"
8	ヴォージラルの家	(64.7 × 80.5cm)	"
9	パリ十五区街	(54.0 × 65.0cm)	"
10	レ・ジュ・ド・ノエル	(60.7 × 73.0cm)	"
11	靴 屋 の 店	(72.5 × 59.0cm)	"
12	絵 具 箱	(45.3 × 53.0cm)	1926年作
13	寺 院 入 口	(41.0 × 32.0cm)	"
14	オブセルヴァトワル附近	(74.0 × 94.0cm)	1927年作
15	花	(68.0 × 57.0cm)	?

16	安 治 川	(60.0× 74.0cm)	?
17	オ・レ・ベィユ・マタン	(62.0× 74.0cm)	?
18	パ リ ス ケ ッ チ	(21.2× 33.4cm)	?
19	広 告 (ヴェルダン)	(54.0× 65.0cm)	1927年作
20	広 告 (アンジューノ)	(65.2× 80.8cm)	"
21	カ フ エ の テ ラ ス	(54.0× 65.7cm)	"
22	オブセルヴァトワル附近	(54.0× 65.0cm)	"
23	サ ク レ・キ ョ ー ル	(73.0× 61.0cm)	"
24	靴 屋	(59.7× 72.5cm)	"
25	パ リ 街 景	(65.0× 81.0cm)	"
26	街 角 の 広 告	(80.5× 65.0cm)	"
27	場 末 の 街	(60.5× 73.0cm)	"
28	広 告 と テ ラ ス	(53.5× 65.0cm)	"
29	ガ ラ ー ジ ユ リ	(53.0× 72.7cm)	"
30	広 告 貼 り	(71.5× 59.0cm)	"
31	共 同 便 所	(72.8× 60.2cm)	1928年作
32	工 場	(60.0× 91.0cm)	"
33	モ ラ ン の 寺 (1)	(60.0× 73.0cm)	"
34	モ ラ ン の 寺 (2)	(60.0× 73.0cm)	"
35	郵 便 配 達 夫	(81.0× 65.0cm)	"
36	村 と 丘	(60.0× 73.2cm)	"
37	ロ シ ア の 少 女	(65.0× 53.8cm)	"
38	黄 色 い レ ス ト ラ ン	(73.0× 60.7cm)	"
39	納 屋	(77.5× 65.0cm)	"
40	町 は ず れ の 寺	(60.0× 72.0cm)	"

富 田 溪 仙 名 作 展

(11月18日 — 12月14日)

当館主催 会場 第1、2陳列室

福岡市出身の異色日本画家、富田溪仙の偉業を偲び、京都市美術館、富田未亡人及び在洛、在阪神間、在福の所蔵家の御出品を得、市立神戸美術館の御好意に依って開催したものである。

〔屏 風〕

1	青 嵐 図	絹 本 着 色	6 曲 1 隻	1913 (大2) 年作
2	南泉斬猫 狗子仏性	"	6 曲 1 双	1918 (大7) 年作
3	祇園夜桜 奈良の藤	"	"	1924 (大13) 年作
4	神 庫 (試作)	"	2 曲 1 隻	1927 (昭2) 年作
5	伝 書 鳩	"	2 曲 1 双	1934 (昭9) 年作

京都市美術館

〔掛 軸〕

6	鵜 船	紙 本 水 墨	2尺6寸 タテ	1912 (大1) 年作
7	蘭 亭 游 觴	絹 本 着 色	尺 2 タ テ	1927 (昭2) 年作
8	李 白 観 瀑	"	半 折 タ テ	1929 (昭4) 年作
9	昇 鯉 図	"	尺 7 タ テ	1930 (昭5) 年作
10	驚 の 花 籠	紙 本 水 墨	3 尺 タ テ	1931 (昭6) 年作
11	春 の 花 籠	絹 本 着 色	尺 4 タ テ	1933 (昭8) 年作
12	花 苑 杉	"	尺 5 ヨ コ	1934 (昭9) 年作
13	春 日 神 苑	絹 本 淡 彩	尺 8 ヨ コ	
14	神 代 春 宵	絹 本 着 色	尺 8 ヨ コ	
15	洛 東 春 曙	"	尺 4 タ テ	
16	幽 谷 春 曙	"	尺 7 タ テ	
17	菊 慈 童	絹 本 金 地 着 色	扇 面	
18	日 本 ア ル プ ス	絹 本 水 墨 淡 彩	尺 7 ヨ コ	
19	弘 雲 帚	紙 本 水 墨	半 折 タ テ	

20	晴雨帰牧	絹本着色	尺4	タテ	
21	月下走鹿	絹本水墨淡彩色	尺8	タテ	
22	梢白鷺	絹本着色	尺7	タテ	
23	聖人観瀑図	"	半折	タテ	
24	梅鶴図	"	色	紙	
25	宮島図	"		"	
26	冬宮図	"		"	
27	宇治図	"		"	
28	観自在菩薩	紙本素描	尺2	タテ	ポール・クロードル 讃溪仙八十一話口絵
29	嵐峡雨罷(絶筆)	絹本着色	尺5	ヨコ	1936(昭11) 年作
〔画 帖〕					
30	逍遙画帖	絹本着色	色紙	大	1927(昭2) 年作
31	聖与花画帖	絹本着色	"		
32	日本八景	絹本着色	色紙	特大	
〔参 考 品〕					
33	溪仙書翰	3 卷			
34	画集四風帖	扇面 4 面			
35	画集近畿柳桜				
36	画集春夏秋冬				
37	画集山海経				

ポ ー ル ・ ク レ ー

(12月16日 — 1月31日)

平常展観に併陳。会場第3陳列室。

1	悪霊につかれた人	1916年作	14	魚	1925年作
2	卵と共に	1917年作	15	円柱	1926年作
3	敬虔なる北の国の風景	"	16	砂の上の花	1927年作
4	黒い星の下に	1918年作	17	古い町と橋	1928年作
5	二軒の田舎家	"	18	ボルの町の上の雲	"
6	花の神話	"	19	双子の座	1929年作
7	沈む太陽と共に	1919年作	20	六つの種	1930年作
8	テラスのある庭	1920年作	21	庭の門、エム	1932年作
9	さわやかな庭	1921年作	22	植物分析	"
10	秋の使	1922年作	23	水辺の都	"
11	支那の陶器	1923年作	24	青い眼の魚	1938年作
12	鳥の庭	1924年作	25	二人の狂人と共に	"
13	かたつむり	"	26	黒、なおその場所に	1940年作

複製と模写による 西 洋 名 画

(2月1日 — 2月27日)

平常展観に併陳。会場 第2、3 陳列室。

〔複 製〕					
1	マネー	オランピア	11	ゼザンヌ	風 景
2	ドガ	舞踏	12	"	"
3	"	踊	13	"	"
4	ローレック	エール	14	"	首吊りの家
5	ピサロ	風 景	15	"	赤チョッキの男
6	モネ	"	16	"	静物
7	"	"	17	"	カルタをとる男達
8	シスレー	"	18	ルノアール	観劇
9	セザンヌ	"	19	"	風 景
10	"	"	20	"	ムラーン・ド・ラ・ギャレット

21	ルノアール	白	衣	の	少	女	32	ル	オ	ー	人	物
22	"	ビ	ア	ノ	の	前	33	マ	チ	ス	女	人
23	"	水	人	の	少	浴	34	"	"	"	魚	物
24	"	二	"	ヒ	女	女	35	マ	ル	ケ	鉢	の
25	ゴーガン	タ	"	庭	チ	子	36	デ	ユ	フ	の	静
26	ゴッホ	"	風	"	"	"	37	ド	ラ	イン	ある	風
27	"	収	収	"	"	"	38	ピ	カ	ソ	の	景
28	"	系	"	"	"	"	39	"	"	"	ある	景
29	"	"	"	"	"	"	40	"	"	"	性	物
30	"	"	"	"	"	"	41	ブ	ラ	ッ	恋	愛
31	アンリー・ルッソー	"	"	"	"	"	"	"	"	"	静	人

〔模写〕

1	ボンペイ壁画	藤島武二模写
2	"	"
3	キリストの洗礼壁画部分	和田英作模写
4	聖家族	島村三七雄模写
5	カスラル・ガンドルフォの思い出	和田英作模写
6	ムーラン・ド・ラ・ギャレット	島村三七雄模写
7	水浴後の休息	勝間田武男模写

第2回 西日本洋画新人秀作展

(3月1日 — 3月29日)

当館主催 会場 第1、2陳列室

1958年度の西日本地区（山口県、全九州）で開催された各種公募展の上位入賞作より48点を選抜したもので、当館運営委員会が審査の結果、古賀耕児「作品C・華」に金賞、千賀友子「独白」に銀賞、三浦洋一「帰る船」谷口利夫「動物」に銅賞が贈られた。

1	蔵	本	朝	美	水	車	(80 号)	熊日綜合美術展
2	芹	川	光	行	サ	ー	(120 号)	"
3	千	賀	友	子	独	カ	(60 号)	"
4	谷	"	俊	男	岩	ス	(50 号)	"
5	西	村	義	人	壁	の	(80 号)	"
6	三	浦	洋	一	鯉	彫	(100 号)	"
7	柿	原	"	聡	婦	る	(50 号)	佐賀県美術展
8	杉	本	好	守	祈	話	(40 号)	"
9	谷	口	利	夫	動	物	(50 号)	"
10	西	川	幸	四	風	"	(50 号)	"
11	深	川	善	郎	集	い	(50 号)	"
12	村	岡	"	次	黒	河	(50 号)	"
13	石	橋	光	一	魚	り	(50 号)	西部女性美術展
14	梅	本	妙	子	作	品	(50 号)	"
15	鬼	木	美	子	風	景	(50 号)	"
16	中	西	和	子	石	場	(50 号)	"
17	山	田	文	子	配	工	(80 号)	"
18	黒	木	邦	彦	天	使	(30 号)	長崎県美術展
19	園	田	康	成	貨	と	(50 号)	"
20	田	中	寛	治	八	月	(50 号)	"
21	横	尾	安	太	室	の	(20 号)	"
22	吉	田	克	二	白	追	(100 号)	"
23	芳	山	邦	弘	い	品	(30 号)	"
24	小	川	明	児	作	品	(25 号)	福岡県美術展
25	古	賀	耕	"	作	A (華)	(40 号)	"
26	"	"	"	"	作	C (華)	(40 号)	"
27	籠	田	隆	司	鳥	"	(30 号)	"

28	坂立	田花	輝雄	夜炭	の	建	物場	(50 号)	福岡県美術展
29	皆大	島嵩	重万	突森	送		風る	(100 号)	"
30	小	森園	礼綾	枯森	に	墜	花女	(60 号)	"
31	沢	井内	秀弥	少	の	中女	像	(60 号)	南日本美術展
32	宮川	越	緒		の	森		(60 号)	"
33	黒島	川美	民	静あ		一	風景	(30 号)	"
34	松井	富	夫二	モ		山	物景	(100 号)	宮崎県美術展
35	宮鬼	正末	雄郎			牛	ゼ	(25 号)	"
36	滝本	洋司	満磨	群		経		(40 号)	"
37	竹戸	安策	助里	寮里			像堂	(100 号)	"
38	藤田	隆之	臣弘	十	種	ケ	芋峯	(100 号)	"
39	神毛	千正		赤	い	裸	婦	(50 号)	"
40	児脇	成	人	月	に	憑	た	(30 号)	"
41		正		構	か	れ	ピエ	(30 号)	山口県美術展
42					策		ロ	(50 号)	"
43					家		B	(100 号)	"
44								(100 号)	"
45								(60 号)	大分県美術展
46									"
47									"
48									"

1958年度各種活動について

毎週土曜、日曜に定期的に作品解説を行っている。

美術講座、美術映画やスライドの会を開いて、美術知識の普及をはかり、又、館外でも、機会ある度に、美術講演会、スライド等の上映を行っている。

階下のオープンギャラリーは、常に活用され、毎年、定期的な展覧会も開かれて、使用数は前年度より増えている。

又、毎月1回「石橋美術館ニュース」を発行し、美術への関心を高めることにつとめている。その他、レコードコンサートも開催している。

美術講座

4 月 13 日	第 18 回	浮世絵について (スライド使用)	岸 田 勉 氏
7 月 13 日	第 19 回	オランダの美術館とレンブラントの作品	大 塚 幸 男 氏
11 月 23 日	第 20 回	富田溪仙と近代日本画	菅 瀬 正 氏
3 月 8 日	美術講演会	日本美術の現状	嘉 門 安 雄 氏

上映映画並スライド

7 月 5 日	映画「レンブラント」			
7 月 6 日				
7 月 12 日				
7 月 13 日				
7 月 19 日				
7 月 20 日				
10 月 14 日	美術スライド鑑賞の会	「源氏物語絵巻」 「桃山障壁画」	日本経済新聞社 主催	
1 月 25 日	美術映画の会	「群像」 「雲を描く」 「白鯨」 「東洋の毛筆手法」	U S I S 提供	

階下ギャラリー展覧会

4月26日—5月5日	第9回 西部水彩展	(水彩画)	西部水彩連盟主催
5月9日—5月17日	けしけし祭 児童画展	(児童画)	
5月19日—5月20日	カレンダー企画展示会	(カレンダー)	凸版印刷
5月30日—6月1日	久留米大学文化祭展示会		
6月14日—6月15日	筑後青白磁展	(青白磁出土品)	九州考古学会主催
7月6日—7月9日	久紀同人展	(油絵)	
8月10日—8月13日	第7回 青稲会同人展	(")	
8月17日—8月20日	九州独立作家展	(")	
9月20日—9月23日	池坊華展	(生花)	
9月25日—9月30日	筑後川公園児童スケッチ展	(児童画)	
9月24日—9月29日	国際親善児童画展	(")	
10月2日—10月5日	ラファエロ会児童画展	(")	
10月10日—10月19日	第2回 筑後地区高校美術展	(絵画、彫塑、工芸、デザイン)	
10月20日—10月23日	小原流華展	(生花)	
10月24日—10月30日	ユネスコ国際交流学校美術展	(絵画)	
11月1日—11月9日	九州前衛展	(油絵)	
11月23日—11月30日	第2回 佐賀大学美術科総合展	(絵画、彫塑、工芸、デザイン)	
1月4日—1月11日	久大医学部、無料診療写真展	(写真)	
1月14日—1月31日	市内小学生文化センタースケッチ展	(児童画)	
2月15日—2月17日	新年揮毫会入選作品展	(書道)	
2月19日—2月22日	市内中学校総合美術展	(水彩、版画)	
3月2日—3月9日	市内小学校粘土工作展	(粘土工作)	
3月13日—3月16日	小原流華展	(生花)	
3月25日—3月29日	創造美育協会児童画展	(児童画)	

レコードコンサート

毎月1回、第3土曜日に、中央ホールで開催。夏季は野外を使用。解説は毎回、田中孝氏。1958年度は交響曲の研究（4月～6月）管絃楽の楽器について（9月～12月）ドイツ歌曲（1月～3月）等の特輯を行い、12回開催した。

附 録 石橋文化センターの概要

1 設 備	敷 地 総 面 積	42,000 平方米	
	美 術 館	1,587 平方米	鉄筋コンクリート二階建
	体 育 館	1,295 平方米	鉄骨アルミ葺一部二階建、観覧席 800 人
	競 泳 プール	50m × 9 コース	日本水連公認、水深 1.5 米、水中照明 36 基
	プールスタンド	50m × 16 段	鉄筋コンクリート二階建 収容人員 2,500 人
	テニスコート	1,320 平方米	二 面
	弓 道 場	186 平方米	木造平屋五立
	マラソコース	42.195 軒(往復)	日本陸連公認 公称石橋マラソコース
	野 外 音 楽 堂	1,944 平方米	収容人員 1,000 人
	ペリカンプール	462 平方米	鉄筋コンクリート造一部煉瓦
	児 童 遊 園 地	600 平方米	大小の禽舎、児童プール、各種遊戯器具
	白 鳥 の 池	3,240 平方米	ドイツ産白鳥 6 羽
	孔 雀 舎	124 平方米	木造平屋 孔雀 67 羽放鳥
	バ ラ	約 4,000 本	F L、ボーダーキング、マパーキンス、H T、ピース ローズゴジャール、スキャンダル等々

2 入 園 者 状 況

年 度 別	フ リー	個 人	団 体	計	一 日 平 均	一日の最高	一日の最低
1956	88,746	340,117	136,537	565,400	1.678	30,000	54
1957	28,941	296,165	111,765	436,871	1.217	8,000	76
1958	17,541	323,935	109,786	451,262	1.236	7,335	30

3 施 設 利 用 状 況

年 度 別 区 分		1956		1957		1958		摘 要
		一般利用者	大会	一般利用者	大会	一般利用者	大会	
体 育 館	卓 球	7,921 人	14 回	20,476 人	22 回	23,854 人	18 回	レクリエーション大会その他 多人数の会合等
	バドミントン	697	1	1,783	11	3,365	4	
	排 球		7		8		12	
	籠 球		7		8		7	
	体 操		9		10		6	
	柔 剣 道		5		8		4	I・C・Cレコードコンサート外 自衛隊ブラスバンド演奏会 レコードコンサート外 運動会子供大会、スケッチ 会外
	ボクシング		1		4		1	
	ハンドボール		1		2		3	
	そ の 他		10		17		14	
	テニスコート	115	6	240	9	256	5	
	弓 道 場				3		15	
	プール	31,450	13	29,427	20	36,789	16	
	マラソコース				3		4	
	美術館ホール		1		13		9	
	展 覧 会		14		17		22	
	講 演 講 習 会		28		50		48	
	映 写 室		13		8		12	
美 術 館 下	文 化 会 館		8		6		7	
	野 外 音 楽 堂		1		6		8	
	園 内 一 般		2		5		10	

ISH BASHI ART GALLERY

NONAKA-MACHI, KURUME, FUKUOKA, JAPAN



久留米市 野中町 石橋文化センター

石 橋 美 術 館